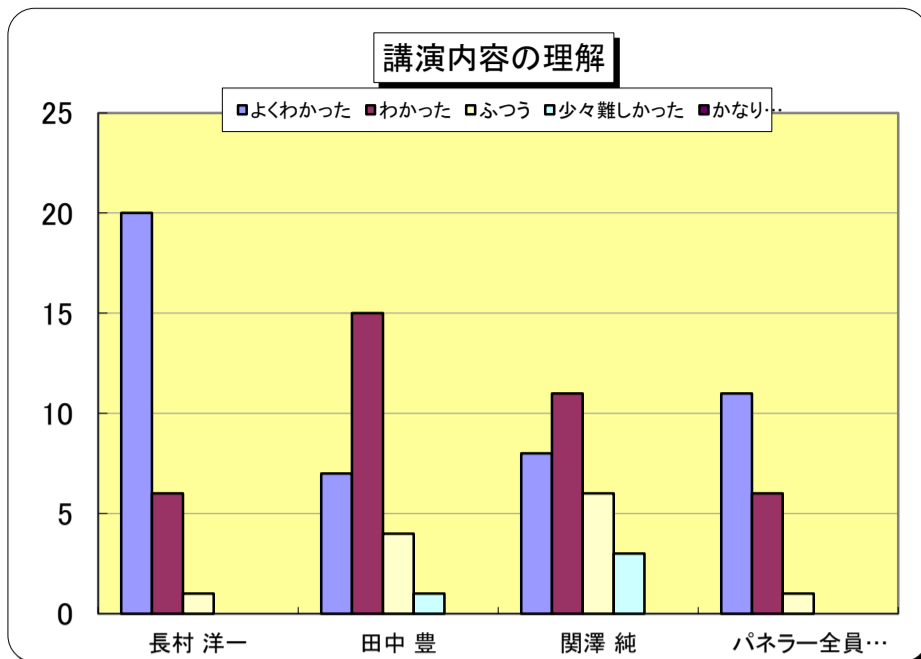
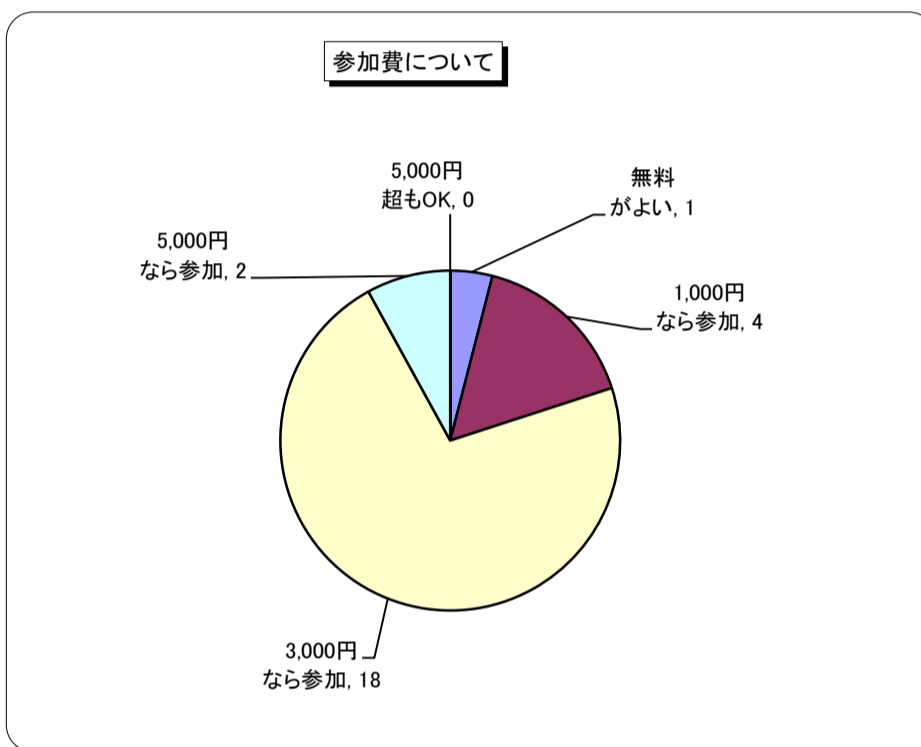


アンケート回収数29枚(参加者:45名、演者4名を除いた回収率:71%)

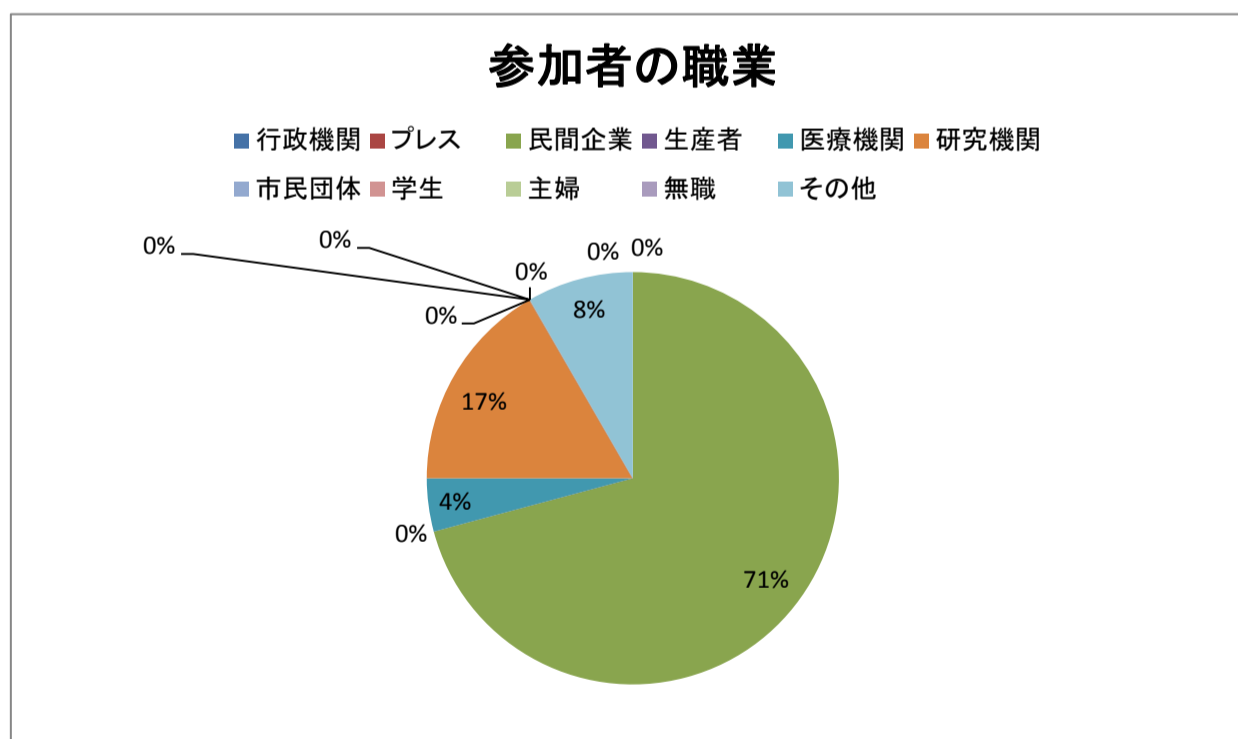
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	消費者の誤解は量の概念の不足から	長村 洋一	20	6	1	0	0
2	市民のリスク認知とリスクリテラシー	田中 豊	7	15	4	1	0
3	安全と安心の関係をもう一度考えよう	関澤 純	8	11	6	3	0
4	パネル・ディスカッション: 『市民の食の安心につながるリスコミとは』	パネラー全員 進行:山崎	11	6	1	0	0



	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどうお考えですか?	1	4	18	2	0
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全・安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
消費者市民のリスクリテラシー向上につながるリスコミのために、いま何が必要でしょうか?	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOからメルマガ(ご案内メール)を不定期に発行しております。無料購読を希望の方はメールアドレスをご記入ください。	(別紙)				



職業	
行政機関	0
プレス	0
民間企業	17
生産者	0
医療機関	1
研究機関	4
市民団体	0
学生	0
主婦	0
無職	0
その他	2



1 消費者の誤解は量の概念の不足から		長村 洋一
1	「基準値がない食品添加物がある」という点は、一般的にわかりにくい。基準値という限りは安全性根拠で定められるべきだと思います。	
3	大変わかりやすく参考になりました。	
6	講聴できなかったのが残念です。通信などでの公開をお待ちしています。	
8	消費者と話すことも多いのですが、説明に役立つヒントをいただきました。	
10	先生の講演に対する市民・学生の反応についてのお話をもっとお聞きしたかった。	
11	明確な問題指摘は理解し易い。具体的に解決に挑戦されている事に感心した。	
16	論点クリアなご説明が、大変わかりやすく良かった。	
17	専門用語がよくわかりませんでした。(Chinese-restaurant syndromeも含めて)トリプトファンの問題は不純物が原因と聞いていたので、今日の話には驚きました。こういう話があるとグリシンへの不信感を持つ方に説明が難しくなると思いました。	
18	天然、自然という文言は健康的に感じてしまう。食品添加物は、未だに正しく認知されていない事が残念に思います。	
19	MSGのCRの件、非常に有益な取組であり、参考とさせていただきます。また、様々なところに広めていきたいと思っています。	
21	学生にどのようなことから教えたらいのか、よい示唆をいただきました。どうもありがとうございました。	
22	栄養士会の現状等、参考になりました。	
23	食品メーカーの立場からは、本当にごもつともな話であり、大変参考になった。当社の新入社員の基礎的な考え方として、取り入れたい感じを受けました。	
24	とても分かりやすいお話でした。	
26	MGSによる頭痛発生が完全否定されたという話は初めて伺い、とても参考になりました。	
27	食の安全⇒食に完全な安全はない⇒食を極力安全にとる為に⇒好き嫌いなく様々なものを適量にという昔の人の知恵にもどる気がします。	
28	内容は難しくないが、テーマとしてどうかと思った、誰に向けた内容か。添加物への不安は、食経験の視点でどうしても存在すると思う。なので、データを示して丁寧に説明していくしかないと思う。	

2 市民のリスク認知とリスクリテラシー		田中 豊
1	多くのアンケート・調査データのご紹介はわかりやすい内容でしたが、そこから何を読みとり、考察できるのか？という点で難解であった。	
3	心理学的リスクリテラシーについて理解しやすく解説いただきありがとうございます。	
8	生活者としての学校での教育の重要性、同感です。	
10	(市民の)リスク認知の深層心理について、もっと詳しくお話を聞いてみたい。	
11	リスクリテラシーに焦点を当てた講演を聞いてみたいと思う。	
17	市民のリスクリテラシーが低いことの話が主でした、そこからどうしていくかの話がもっとあるといいと思いました。	
18	上野製菓(株)のパンフレットがとてもわかりやすく、参考になりました。安全と理解していても、好き嫌いの感情のコントロールはむずかしいですね。	
19	リスクリテラシーの限界を感じましたが、様々な立場の人が、それぞれ有益となるべく、リスク活動をしたいと思いました。	
20	心理学的見地からのサマリーは、もっと知りたいと思いました。	
21	リスク教育は重要とあらためて思いました。	
22	心理的考察、参考になりました。上野製菓様のパンフ判りやすく活用したいと思います。	
23	リスクの費用対効果を考えると、メーカーサイドからは、あまりにもコストをかけることは難しい。ここらのバランスのとり方が難しい。	
24	どんな研究なのか気になりました。	
26	リスクリテラシーに対するお話は参考になりました。	
27	リスク認知のパラドックスに関し「マズローの欲求5段階」がわかりやすく感じました。安全が当たり前になると、さらに上を求める、めざすというふうにと考えると、いつまでも気持ちにゆとりが出ないように感じます。	
28	リスクとベネフィットの関係など分かり易く整理されていた。市民がゼロリスクを求めている前提ではなく「何と同じくらいのリスクか」というように比較しながら正しくリスクとつき合うことかと思う。	

3 安全と安心の関係をもう一度考えよう		関澤 純
1	「よく理解できた」というよりは「大変興味深く学ぶことができた」という実感です。「リスクとは、それを被る人こそ本来の主人公」という話は印象的でした。	
3	食だけでなく、多方面でのリスクの解説ありがとうございます。	
4	色々な基準値の決め方と安心及び安全との関わり方に少し理解が進んだ。数値の意味の広報が必要。	
8	安全と安心は違う、わかりきっていることですが、消費者に伝わらない現実があります。悩ましいです。	
10	貴重な問題・課題の提起と思いますが、私には少し消化不良です。	
13	文字・情報量が多すぎた。	
17	基準という言葉の意味など、基本的なところでわかっていないということが認識でき、勉強になりました。話の難易度はやや高く、理解が難しいところもありました。	
18	築地移転問題は、豊洲に反対する一部の人が問題にしたのではないですか？ニュースで流れるたびに、マスコミの報道のあり方にも疑問を感じます。	
19	Fail safe, Food proof が、いまひとつピンと来ませんでしたので、自分でまずは勉強いたします。	
21	安全と安心について分かりやすい説明をいただき、ありがとうございました。参考にさせていただきます。	
22	食のお話のみならず、原発問題にも踏み込んだお話、参考になりました。基準値の決め方、科学的とはいえ強引な結論付け、意外でした。	
23	安心は消費者・生活者の感性だが、やはり情報を正確に伝える、理解していただくことが基本と痛感。	
24	文字だらけで分かりにくい。	
28	食から離れた内容が多かった、何を伝えたいのか簡潔にすべし。知っていることをベタ打ちではボヤける。	

4	パネル・ディスカッション：『市民の食の安心につながるリスクミとは』	パネラー全員 進行：山崎
10	いつも参考になる、今日は会場からのフォロー、多く質問があり、大変かと思いますが、これにフォローが必要かと。(質問の意味・内容などでのフォロー)	
11	良かった。	
12	安部VS長村 観たいです！1万円でも安い！	
17	わかりやすくよかったです。	
19	リスクコミュニケーション活動をする上で、貴重なお考えを聞くことができました。	
21	食添について、大変参考になる良い議論を聞かせていただきました。どうもありがとうございました。	
22	完全を目ざして進めるのが科学だと思いますので、今後のSFSSの活動に期待します。	
24	GMを理解していない人は多いでしょう。	
28	内容は分かるが、もっと短く回答すべき。色々なテーマでできないので。	

5	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	
1	初めて参加させていただきました。大変社会的意義のある会であると感じ、次回以降も参加させていただきます。	
2	科学情報コミュニケーションとリスクコミュニケーションを混同しないことが必要という点は大事であるが、特にマスコミ・メディアが劣化している現状では、逆に不安を増大させていると思う。	
3	知らない分野の件お伺いでき、勉強になりました。	
4	リスク認知や個人の行動判断を決める上での背景には ①自分で理解しようとする姿勢の強さ ②科学技術に対する信頼性(理解できるか否か以前の問題として) ③政策や社会的な決めに対する信頼性が重なっており、①や②は理科教育の影響が多い。教育との関係に焦点を当ててみてはどうか？	
5	食の安全性について、ゼロリスクではなく、いかにリスクを中立に考えるのかということを知りたくて参加させていただきました。日常臨床でも、患者の方とリスクコミュニケーションを取ることに難しさを感じております。コミュニケーション上どのようにロジックを組み立てるのか、3人の先生方の知見を参考にさせていただきたいと思っております。ありがとうございました。	
6	量の概念をあわせて教育することの重要性をあらためて感じた。	
7	参加者をもっと増やすために①参加費の低減②理解あるマスコミを利用しての情報発信③SNSを利用しての情報発信をすすめて下さい	
8	初めての参加でしたが、参加してよかったと考えます。できれば、平日であればよいのですが？	
11	興味あるテーマであり、理解し易かった。	
17	わかっているようで、わかっていないことがあることを認識しました。今回で言うと、トリプトファン・β-カロテン・「基準」の意味など。このフォーラムには何回か参加していますが、勉強になることが多くあります。	
18	科学的に安全という教育を広める必要性を感じました。	
19	長村先生の最近の取組(MSGのCR等) 貴重なお話を聞くことができました。ありがとうございます。	
20	ベネフィット×リスクだけでも理解することで、かなり生活が違ってくるのに、何故学ぼうとしない人が多いのかと思いました。(食に限らず)	
22	当社は日添協の有力会員でありながら、「無添加だし」を上市しているといった無節操な会社です。長村先生の「改めて化学調味料無添加ナンセンス」にはドキリとし、片身の狭い思いでした。私自身は、添加物畑を歩んで来まして、まさにその通りと思います。	
23	消費者・生活者に食品加工製造業者の思いがなかなか伝わらないことの現実	
26	リスクミ全般にわたるお話で、また一般向けのセミナーより一段階踏み込んだ内容でとても良かったです。	
28	学者の立場よりも、市民の声が聞けると良い。もしくは市民の声のデータを客観的に示して「専門家と市民のギャップ」をどううめるかに、もっとフォーカスすべきと思う。	
29	もっと一般の人がこのフォーラムの存在を知り、参加できるようになるとよいですね。また食品に限らず他業界(例えば電力業界)の企業の人参加して議論に参加すると面白いと思いました。	

6	今後、食の安全・安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？	
2	機能性食品の効果とリスクについて	
3	HACCPと食品衛生法関連	
7	天然＝安全、人口＝危険などと煽るテレビや週刊誌への有効な対策	
8	食の安全・安心とメディアの役割と責任	
11	科学的根拠：人に対して疫学によるしかないと思うので、疫学についての話	
12	人口の増加(世界的な)に伴い、家畜・水産資源・穀物の代替が進むと考えられる。食経験の無いものに対する安全はどのように担保するのか？	
13	今後実用化が進む新技術(ゲノム編集とか)	
14	10年単位で疫学の点から食品安全の数値の検証	
18	栄養士が食のリスクミにどの程度理解をしているのか？(食の安全・安心に身近な専門家の認知度)	
19	根拠の不十分な食のネガティブ情報や言い伝えのひとつひとつの検証	
20	リスクリテラシーの問題については続けていただきたいです。	
21	学校教育におけるリスクコミュニケーションの授業について 方法、これまでの事例と対策、その効果など	
22	食品添加物の安全性を理解してもらうための方策とは(消費者団体対策、学校教育対策)	
27	輸入食品の安全性	
28	安全安心全般ではなく“食”に限定(フォーカス)してはどうでしょう。	

7	消費者市民のリスクリテラシー向上につながるリスコミのために、いま何が必要でしょうか？
1	消費者市民から信用厚い権威ある学者の先生方、NPO/NGO団体からのコミュニケーションフォーラム活動を、資金的には民間企業が後押しすること。
3	正しい理解と周知をさせる事、又そのネットワークを多くの所に作る。
5	少なくともゼロリスクはあり得ないことから、教育(小中高生も含めて)を受けることや、一般市民との対話が必要であると思います。田中先生が仰ったリスク教育に期待しています。
8	特定の団体と人が消費者の意見になっている。行政は見直すべき。
9	保健機能食品を除く「いわゆる健康食品」についてのリスクリテラシー
10	市民の方が参加したいと思うシンポ(テーマ・演者)
11	”食に関する基礎知識”に関する寺子屋式活動 SFSSから数名のグループへ人を派遣して行う。教材はSFSSで準備
12	消費者の市民団体ではなく、消費者との対話が必要。
14	お金(小銭をかせぎたい多数の一般市民の金銭欲を利用して、正しい情報発信者(芸能人?)にご褒美をあげるetc)
15	マーケティング関係の担当者に聞いてもらいたい。
19	メディアの理解。消費者が不利益を被るようなフェイクニュースに対する何らかの規制を。
20	まず、参加してもらうこと(入り口を知ってもらうこと)だと思います。時間はかかりますが、学校教育は大きいと思います。
23	本日も教育の重要性が語られていましたが、まさにその通りだと思います。
28	専門家が「専門家と市民のギャップ」を正しくつかむことがファーストステップと思う。